

アジア太平洋地域を ブルーミュージックで目覚めさせる

地域社会を力づけ、世代を鼓舞する



アジア太平洋地域ブリテン
2026-27 年度
創刊号
2026 年 9 月

地域会長メッセージ

ワイズメン、ワイズレディーズ、コメット、YMCA の仲間、そして友人の皆さまへ

2026-2027 年度最初のアジア太平洋地域ブリテンへようこそ。地域の主題「アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる」、スローガン「地域社会を力づけ、世代を鼓舞する」のもと、新年度の始まりに皆さまにご挨拶できることを大変うれしく思います。

ブルーミュージックは、友情、奉仕、パートナーシップ、希望の精神を表しています。人々を集めるキャンプファイアーのように、すべてのクラブと区に、親睦を深め、YMCA と緊密に協働し、新会員を迎え、環境を大切に、地域社会への意義ある奉仕を広げるよう促します。一人ひとりの会員には独自の役割があり、力を合わせればクラブの枠をはるかに超える好ましい影響を生み出せます。

このブリテンは、地域内の心を動かす物語、優れた実践、成果を分かち合い、アジア太平洋の家族のつながりを保つという私たちの決意を示すものです。編集チームを見事に率いてくれたブリテン地域事業主任のジョウン・ウォン元地域会長と、発行にご協力くださったすべての皆さまに心から感謝します。

マレーシアのペナンで開催される 2026 年国際大会に参加される皆さまを、心から歓迎します。世界各地から 500 人以上の参加が見込まれるこの大会は、親睦を深め、意見を交わし、ワイズメンズクラブ国際協会の使命に共に尽くす決意を確かめ合う絶好の機会です。このブリテンが、国際協会のあらゆる地域の友人に、アジア太平洋地域の活気ある精神を紹介するものとなることを願っています。



共に地域社会を力づけ、未来の世代を鼓舞し、奉仕の音楽を世界中に響かせながら、ブルーミュージックでアジア太平洋地域を目覚めさせ続けましょう。

親睦と奉仕の心を込めて

ラチャン・マニーカーン
2026-2027 年度 アジア太平洋地域会長

編集 チーム

編集責任者からのメッセージ

まず、この創刊号を新聞形式で制作するにあたり、ご支援と資金援助をくださったアジア太平洋地域に感謝申し上げます。皆さまが印刷版を手元に置き、クラブ会員と共有しやすくするためです。

ブリテン事業主任を務めることは光栄であり、地域会長退任後、再びアジア太平洋地域に貢献する機会をいただきました。今年度、編集チームは季刊ブリテンの発行を目指しています。創刊号は印刷版とし、以後は、電子版とします。十分な人手を確保するため、台湾の熱心なユース会員シンディ・ウーさんを編集チームに迎えました。また、ヘレナ・チア元理事に編集長を務めていただけることをうれしく思います。

今号では、ワイズメンズクラブ国際協会アジア太平洋地域の勢いを呼び覚ますブルーミュージックと、ワイズの世界と運動に対するクラブの協調的な取り組みを特集します。ラチャン・マニーカーン地域会長は 7 月以来、率先してブルーミュージックに呼応し、すべての区がアジア太平洋地域の目標に沿うよう導いています。ブルーミュージックの精神は「善を行動に」です。弱い立場の人々や困窮する人々への支援・慈善活動で、素晴らしい働きをしているクラブがあることは確かです。7 月 28 日、日本の熊本でマグニチュード 7.1 の地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。幸いワイズメンは、全員無事で、被災した建物の修復支援と募金活動を通して連帯をしました。

多言語のブリテンをご提供できず申し訳ありません。しかし、AI の大きな助けにより、英語を読めない会員も Papago などの AI アプリで翻訳できます。訳文は必ずしも正確ではないかもしれませんが、少なくとも内容は理解できます。

最後に、皆さまがこの創刊号を楽しんでくださることを願っています。神の祝福がありますように。

ワイズリー
ジョウン・ウォン元地域会長



ジョウン・ウォン元地域会長
ブリテン地域事業主任



ヘレナ・チア元理事
編集長



ユース シンディ・ウー
副編集長

ブルーミュージックに満ちた物語

今、ブルーミュージックがアジア太平洋地域を目覚めさせています。ブルーミュージックに触発されて親睦を深め、意義あるパートナーシップを築く方法を、分かりやすく実践的に伝える優良実践例をいくつか紹介します。各クラブが、それぞれの地域社会に最も適した形でこれらのアイデアを取り入れることを願っています。

優良実践例 1
変化を生むブルーミュージック・キャンプファイアー（親睦）と行動するパートナーシップ—チェンマイ YMCA とチェンマイ・ワイズメンズクラブ（パートナーシップ構築）



2026 年 7 月 6 日、チェンマイ・ワイズメンズクラブは新年度を、いつもと違う意義ある形で始めました。通常の例会に代わり「変化のためのブルーミュージック・キャンプファイアー」を開催し、親睦とパートナーシップづくりに力を注ぎました。

優良実践例 2
ブルーミュージック・シンフォニー・キャンプファイアー



インドネシアのマラン・ワイズメンズクラブの会員は、2026 年 8 月 22 日、ボランティアやマラン YMCA の代表と、YMI の物語、希望、決意を分かち合いました。このキャンプファイアーは、行動を基盤として、共に成長する決意を示すものでした。

優良実践例 4
持続可能性のために共に成長する（持続可能性の構築）—ワイズメンと YMCA の環境プログラム



ワイズメンと YMCA は環境保全と環境に配慮した取り組みを重視しています。チェンマイとバンコクの両ワイズメンズクラブは協力し、2026 年 8 月 11 日、チェンマイのチョムトン地区にあるチェンマイ YMCA とグリーン・パートナーシップ活動を行いました。チームワーク、友情、環境と地域社会を大切にする共通の決意に満ちた、有意義で楽しい一日となりました。

優良実践例 3
ブルーミュージック・アンパサダーの任命—香港部



香港部はブルーミュージック運動に積極的に呼応しています。クエンティ・ラウ部長は、香港部の新会長からシニア会員まで 13 人をアンパサダーに任命しました。アンパサダーは、さまざまなプログラムや行事に参加し、ブルーミュージックを共有してクラブを励ますことを約束しています。

ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる

キリスト教強調地域事業主任 川上直哉

「ブルーミュージック」とは何でしょうか。いくつかの文脈から、私は「グレーパワー」の対義語だと理解しています。

まず、「ミュージック」は「パワー」と対比されます。「パワー」は時間の中に存在し続けます。存続するために制度を必要とし、目に見えるものになります。一方、「ミュージック」は一瞬で消え、その余韻の中で永遠を指し示します。「ミュージック」は制度を嫌うわけでも、必要とするわけでもありません。そして「ミュージック」は目に見えません。

「ブルー」は「グレー」と対比されます。これは空の色を表しているようです。灰色の空の下では空は不透明で、私たちは地上の限界を意識し、冷たさや湿り気を感じます。青空は澄み渡り、天の高さを示します。地上に生きる人は頭上の無限を見て、すがすがしさと軽やかさを感じられます。

「グレーパワー」と「ブルーミュージック」の間には、おそらく多くの「グレーミュージック」があります。「ブルーミュージック」はデジタルよりもアナログに近いようです。そこには常に「ブルーミュージック」へと純化していく動きがあります。それは暗闇で炎が燃えるキャンプファイアーの姿に似ているかもしれません。その光の中には無数の灰色の濃淡が現れます。しかし炎のぬくもりを求めるとき、その影は、すべて私たちの背後に伸びます。この憧れには、競争はなく、ただ光輝、栄光をひたすら求める心だけがあります。影から踏み出したいという願いが、すべてを動かします。いつか制度は不要になるかもしれません。その憧れの先に「ブルーミュージック」があります。

私は今、日本で排外主義の影に向き合っています。その暗闇の中で、イスラム教徒の友人がワイズメンズクラブに入会しました。私たちは、共にたいまつを掲げ、がれきを集め、キャンプファイアーに火をともしようとしています。ASEAN の友人と共に暮らせる「ビレッジ・ファーム」の構想を、共に見つめています。今、小さな火がともしました。ペナンで、その小さな炎をもっと大きく育てたいと思います。2026 年 9 月の国際大会では、そのイスラム教徒の友人と私がブースを出します。ペナンで私たちのブースを訪れ、構想をご覧いただければ幸いです。

各区のニュース — オーストラリア区

調和と連帯の中で持続し、成長する

ブルーミュージック・アンバサダー：ジェニファー・ジョーンズ元国際会長（アデレード Y サービスクラブ）、セバスチャン・マシュエ理事（キャンベラ Y サービスクラブ）

区の目標

- 少なくとも 2 つの新クラブを設立します。
- 既存クラブを強化し、団結を育み、多様性を受け入れ、親睦と奉仕を通してワイズメン運動を広げます。
- 困窮者への食事提供、不利な立場にある若者の支援など、意義ある地域奉仕を拡大します。
- オーストラリアの YMCA との強いつながりを築きます。

最近のプログラムと親睦



ブローケンヒル YMCA の 120 周年に参加し、活動を紹介するブローケンヒルクラブ



最高齢会員の誕生日を祝うアデレードクラブ



キャンベラクラブの地域奉仕（困窮者への食事提供）。エマニュエル・ルイス、アニ・ゴビナート、シビ・マシュエ、ジャイ・アントニーとユニタイング・ケアの職員

各区のニュース — 西日本区

変わりつづけよう、ワイズメン！ 私たちが見てみたい西日本区に地域社会のリーダーとなり躍動しましょう！

- 目標：・未来のリーダーを育成する。・持続可能性を念頭に地域社会へ貢献する。
・クラブのイメージ向上により MC（会員維持）と E（エクステンション）を強化する。・ユース育成プログラムを支援する。
・ワイズメンの輪を広げ、認知度を高める

ブルーミュージック・アンバサダー

- ・川本龍資 — 名古屋 ・深谷 聡 — 名古屋 ・荒川恭次 — 名古屋グランパス ・岡村遍導 — 滋賀蒲生野
- ・井之上温代 — 滋賀蒲生野 ・岡田弥生 — 近江八幡 ・伊藤文訓 — 高島 ・林 宏 — 彦根 ・大橋芳夫 — 京都パレス
- ・西村寛子 — 京都ゼロ ・寺久保吉雄 — 京都グローバル ・市橋清太郎 — 京都ウエスト ・中村隆司 — 京都ウェル
- ・中井信一 — 奈良 ・向井貞隆 — 和歌山紀の川 ・遠藤通寛 — 大阪泉北 ・掛谷太郎 — 大阪茨木
- ・鳥居 翠 — 大阪なかのしま ・田尻忠邦 — 大阪 ・坂本千春 — 大阪センテナリアル ・上杉 徹 — 神戸西
- ・杉本隆人 — 神戸学園都市 ・鶴丹谷 剛 — 神戸 ・竹内芳江 — 姫路グローバル ・長壽和子 — 岡山
- ・阿武朋子 — 東広島 ・高瀬裕彦 — 岩国みなみ ・森 博之 — 熊本ジェーンズ ・東 菜保子 — 熊本にし
- ・横田 博 — 熊本ひがし ・田上 正 — 熊本むさし ・前田香代子 — 熊本ジェーンズ

最近のプログラムと行事



2026 年 7 月 11～12 日、岡村遍導理事のもと、2026-2027 年度西日本区第 1 回役員会を開催



2026 年 7 月 25 日、びわこ部が EMC シンポジウムを開催。

ウェスト連合ヘキサゴン（6 クラブ）DBC 締結式



2026 年 9 月 5 日、京都部会で新たなウェスト連合ヘキサゴン DBC 締結式が行われました。50 年の歴史を持つ従来の連合クラブ、東京西、神戸西、大阪西、京都ウエストに、2026 年 6 月 30 日、熊本にし、千葉ウエストの各ワイズメンズクラブが加わったことを記念するものです。同時に東京西、東京武蔵野多摩、東京たんばが合併し、「東京ワイドウエストワイズメンズクラブ」の名で新たな希望に満ちた歩みを始めました。

区内で 2 つの新クラブのチャーターへ

西日本区は今年度、2 つの新しいワイズメンズクラブのチャーターという楽しみな目標に向かって進んでいます。びわこ部で設立中の草津ステラワイズメンズクラブと、中部の名古屋 Pivot ワイズメンズクラブです。



草津ステラワイズメンズクラブのチャーターは、2027 年 2 月 27 日、滋賀県内のホテルで予定されています。びわこ部の全 6 クラブと京都部の京都パレスクラブが大きな支援を寄せています。滋賀蒲生野ワイズメンズクラブがスポンサーとなり、指導役を担います。「ステラ」は「星」を意味し、びわこ部で明るく輝き、新たなつながりを生み、西日本区の新しい力となることへの願いが込められています。



会員減少に対応するため、2026 年 1 月、深谷 聡元理事のもとに 6 人が集まり、共に状況を変えようと名古屋ピボットワイズメンズクラブ設立への挑戦を始めました。チャーターを目指した会員募集は順調です。7 月の例会にはスキー・モーグルの五輪メダリスト、堀島行真氏を迎えました。そのお話は、入会候補者にとって大きな刺激と魅力になりました。

各区のニュース — 台湾区

礼儀を大切にする運動、緑の未来

目標：・会員同士をつなぎ、定期的な交流とクラブ間の関係を築きます。
・キャンパスで社会貢献を進め、「礼儀を大切にする運動」を広げます。
・全会員が団結してプラスチック削減を進め、エネルギー転換を支援し、ESG を実践します。

ブルーミュージック・アンバサダー

・北部：Wen-Tien Huang 部長、Shih-Kai Chiang 次期部長 ・中部：Yung-Chien Hsieh 部長、Tsan Hsueh 次期部長
・南部：Chien-Ho Lai 部長、Yu-Ling Chen 次期部長

最近のプログラムと行事



2026年6月6～7日に開催された区大会



2026年7月4日、2026-2027年度第1回区役員・区事業主任・クラブ会長会議を開催。

ネパールの農村部へ救急車を贈る募金プロジェクト



ネパールの山間僻地では、医療機関までの距離が命を脅かす障壁となることがあります。この課題の克服を支援するため、ワイズメンズクラブ国際協会台湾区は2026年7～8月、「ネパール農村部の命を救う — スクマン記念診療所のための救急車募金プロジェクト」を実施しました。台北ダウンタウンワイズメンズクラブが企画・調整し、医療の届きにくい山間部の住民に、迅速な救急搬送を提供することを目指しています。このプロジェクトは、2024年に台北ダウンタウンクラブが米国の Moringa For Love を通じ、ガルパのカンチ・マヤ・タマン記念コミュニティ病院を支援し始めたことから生まれました。診療所の家賃を援助し、国際奉仕活動に参加する中で、ネパールの遠隔地の医療へのアクセス改善に献身する医師、ディル先生と協力関係を築きました。8月初旬、「ネパール農村部の命を救う — 救急車募金プログラム」に総額22,450米ドルが集まり、救急車購入資金として送金されました。贈呈式は2026年11月11日、ネパールで開催予定です。

困難を抱える人々のための住宅改修事業



宜蘭クラブは2つの慈善団体と共に、困難を抱える兄弟2人が暮らす築100年の平屋を無償で大規模に改修しました。

各区のニュース 南東アジア区

ブルーミュージックで南東アジア区を目覚めさせる
地域社会を力づけ、世代を鼓舞する

目標：南東アジア区のクラブとリーダーの間の意思疎通と協力を強化します。

ブルーミュージック・アンバサダー

・シンガポール — ウェイン・スー部長、バトリシア・リム元理事 ・マレーシア — ヘレナ・チア元理事、ステファニー・チア元部長
・タイ — モンコル・チャヤシリソーン元クラブ会長、チュララット・ポンタッドシリクン次期部長、ワンガナロン・チャイモンコル、パトチャリン・アビンパンクラブ会長、ういウィチトラ・クンカル元クラブ会長、ターウィーチャイ・テルムクナノン元理事 ・ネパール — ディーバック・パンダリ元理事 ・香港 — ウェンディ・ラウ部長、アニー・フン副部長、ジェニー・ラン、ニコル・ウォン元クラブ会長、アラン・スー元クラブ会長、トニー・チャン直前理事、ジェームズ・コング元理事、ピンキー・スン元部長、ピクター・ウォンクラブ会長、ポーリーン・ウン元クラブ会長、エドワード・ウン、チャン・チャン・ヘイ・ナム、ジョウン・ウォン元地域会長

就任式

2026年8月10日 タイのクラブのハイブリッド合同就任式



2026年8月10日、チェンマイのサンティタム YMCA で、バンコク、チェンマイ、チェンライ、チェンマイ・ラナ、バンコク・メトロポリスの各ワイズメンズクラブのハイブリッド合同就任式が開かれました。親睦、友情、奉仕に満ちた素晴らしいタベとなり、ウェイン・スー部長がオンラインで式を執り行いました。

シンガポール・アルファチャプターワイズメンズクラブの就任式



2026年7月11日 香港部合同就任式



クラブの奉仕活動

マレーシアのシルバーステート Y サービスクラブは、2026年6月28日午前、ルマ・オラン・トゥア・ゴベンを訪問しました。介護者を含め17人が暮らす施設です。クラブは約1,200マレーシア・リンギット相当の食料品、生活必需品、お祝いを寄贈しました。障がいのある高齢の入居者もゲームを楽しみ、賞金を受け取りました。豪華な昼食で訪問を締めくくり、会員はドリアンを買って楽しみました。



リーダーシップ研修

香港部は2026年8月31日、中華YMCAでLTOD研修を実施し、クラブ会長と会員30人が参加しました。



若者の心と魂を分かち合う交流会

香港部ではユースの思いに耳を傾けました。この交流会は、部のユース担当事業主任と、部評議会のユース会員有志が企画しました。



新クラブのチャーター

ソールズベリー・ワイズメンズクラブをYMIの家族に歓迎します！

香港YMCAを退職後も奉仕の歩みを続け、17人の会員とソールズベリー・ワイズメンズクラブをチャーターしたビビアン・シャン、おめでとうございます。

ウェンディ・ラウ部長がチャーター式を執り行い、香港YMCAのピーター・ホーCEOが特別挨拶を行いました。スポンサー・クラブとして新たな出発を支えてくださった西九龍および尖沙咀の両ワイズメンズクラブに、心から感謝します。

ソールズベリー・ワイズメンズクラブは、香港YMCAと緊密に協働し、とりわけ地域社会へのメンタルヘルス・サービスと支援に力を注ぎます。



ユース・ニュース

日本のユースは区を越えてつながり、学び、共に行動する機会をつくっています。2025年8月には熊本のアジア太平洋地域ユースコンボケーションに参加しました。2026年5月には福島を訪れ、2011年の震災、放射線、復興、地域づくりについて学びました。

これらの経験を通して、ワイズユースクラブを求める共通の思いが明らかになりました。2026年6月6日、日本各地から12人の若者が東日本区大会に集まり、ボランティア・リーダーのためのワイズユースクラブ設立を話し合いました。10月に再び集まり、話し合いを続け、アイデアを行動に移します。



川上 灯
アジア太平洋地域ユース代表

BF プログラム

2027-2028年度にBF訪問を受け入れたい区、また文化交流や大会参加のためのBF補助金を希望する会員がいる区は、次の主な日程をご確認ください。

2026年12月1日
区・地域によるBF計画書の提出締切

2027年1月15日
2027-2028年度の利用可能な補助金とオンライン申請フォームへのリンクの発表

2027年5月1日
2027-2028年度BF文化交流・BF大会参加補助金の申請締切



2025-2026年度はアジア太平洋地域から1人の代表が参加しました。そのBF報告から一部をご紹介します。

スリランカの旅を振り返ると、行く先々で受けた親切、もてなし、親睦への感謝がいっぱいになります。キャンプでの温かな歓迎、モラトゥワでの意義深い奉仕活動、区役員会での刺激に満ちた交流。その一つひとつの出会いが、ワイズメン運動の会員として私たちを結び価値観を思い起こさせてくれました。

スリランカでのBFプログラムを通して、もてなし、家族のような連帯感、子どもや地域社会との直接の関わりの大切さを学びました。この経験から、親睦の機会を増やし、若い会員を迎え、文化交流を進めることで、川越クラブの活動をどう強化できるかを考えるようになりました。こうした実践を区や部で共有することで、日本のワイズダムをさらに活気づけられると信じています。この取り組みを支えるため、私の経験を分かち合い、生かしていきたいと思います。

生川美樹 2025-2026年度BF代表
東日本区 川越ワイズメンズクラブ

必要な時に共に立つワイズメンズクラブ 熊本地震の復旧支援活動

熊本の地震を受け、アジア太平洋地域は、震災後の復旧のため、NDERF（自然災害緊急支援基金）から5,000米ドルを拠出しました。

地震発生後、ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィック国際会長、ジョース・ヴァルギー国際書記長、ラチャン・マニーカーン地域会長は、深い懸念を表し、連帯を示して心からの祈りを捧げました。西日本区も、最も助けが必要な時に人々に寄り添うという、区の奉仕の基本原則を改めて確認しました。クラブの枠を越えて協力し、地域社会の声に丁寧に耳を傾け、最も必要な場所へ迅速な支援を届けることで、ワイズメンは、奉仕の真の精神を示しました。思いやりと協力の一つひとつが、被災した地域社会に希望を取り戻し、復旧を後押ししました。地域奉仕・環境区事業主任の東 菜保子さんから、熊本のクラブによる支援活動の報告がありました。

連帯のメッセージ

熊本県を襲った強い地震に、深い悲しみを覚えています。

ワイズメンズクラブ国際協会、ヨハン国際会長、国際執行役員を代表し、熊本および日本で被災されたワイズメン、ワイズウィメン、ワイズユース、YMCAの仲間、そしてすべての皆さまに心からの連帯をお伝えします。

私たちの思いと祈りは、されたすべての方々と共にあります。また、支援のためにたゆまず活動する救急要員、救助隊員、ボランティア、地域団体の皆さまに、心から感謝します。

皆さまは、決して一人ではありません。YMIの家族全体が友情、思いやり、連帯の心で皆さまと共に立ち、日本のYMI西日本区およびYMCAのリーダーの方々と共に、救援・復旧活動を支援する用意があります。

神が熊本の皆さま、そして被災したすべての地域社会に、力と慰めと守りをお与えくださいますように。

ジョース・ヴァルギー
国際書記長

1. 避難所でかき氷を提供

熊本ひがしワイズメンズクラブは、八代市内の2か所の避難所で、合計300杯のかき氷を提供しました。避難者からは「この猛暑の中、来てくださってありがとうございます」、「冷たいかき氷がとてもおいしい」と感謝の声が寄せられました。大変好評で、たちまち長い列ができました。中高生のボランティアも配布を手伝い、人々をつなぐ心温まる地域の取り組みとなりました。

2. 救援物資、炊き出し、弁当の継続的な提供

地震直後から、熊本および熊本Nスピリットの両ワイズメンズクラブは、被災地域へ毎日、緊急救援物資を届け始めました。また、炊き出しで温かい食事を提供し、避難者への弁当配布も継続しました。

各避難所の変化するニーズに柔軟に対応し、会員は、被災者の日々の暮らしを支える実践的な支援を行いました。そのたゆまぬ努力は、必要な物資や食事だけでなく、大きな困難の中にある地域社会に励ましと安心も届けました。

3. 八代クラブの会員と甚大な被害を受けた地域の人々

八代ワイズメンズクラブの会員は、自らも被災者でありながら、特に被害の大きかった地域の住民と共に、決意をもって励まし合いながら、復旧への努力を続けています。

多くの方々が程度の差はあれ、自宅や財産に被害を受けましたが、幸い重傷者はいませんでした。粘り強さと希望を持って互いに支え合い、地域社会の再建に向け、着実に前向きな一歩をすでに踏み出しています。

テレビで「こんな日はかき氷を食べたいね」という声を聞き、「それを実現しよう」とすぐに思いました。

竹本雄一
熊本ひがしワイズメンズクラブ会長

